

評価項目

■ 第一次審査：提出書類による書類審査

1 実施体制、実績及び価格提案書の評価

評価項目	様式	評価基準
1. 業務実績等 (事業者)	6	会社としての事業実績が十分であり、行政及び専門知識、ノウハウに長けているか。
2. 業務実績等 (DX 推進アドバイザー)	7	メインとなる DX 推進アドバイザーとして、自治体業務に精通し、業務実態を理解した助言や支援が期待できるか。
3. 価格提案書	8	見積価格の評価

2 企画提案内容の評価

評価項目	様式	評価基準
1. AI 分野の総合的・計画的な行政デジタル化の推進	9(1)	AI 徹底活用の実践にあたり、中長期的な取組みについて、どのような提案、支援、助言等を実施していく考えか
2. AI 徹底活用の実践に向けた具体的取組み	9(2)	AI 徹底活用の実践にあたり、年度途中及び翌年度に向けた短期的な具体的取組みについて、どのような提案、支援、助言等を実施していく考えか
3. AI ガバナンスの確保の取組み	9(3)	「職員における生成 AI システムの利活用ルール」や「生成 AI システム特有のリスクケースへの対応に関わるルール」の策定・更新に関する考えや、「生成 AI システム把握、適切なリスク管理の徹底」について、どのように提案、支援、助言等を実施していく考えか
4. AI・DX リテラシー向上に向けた研修の実施 及び DX 人材育成計画、カリキュラム、手法等に関する助言・提案	9(4)	AI・DX 人材の育成について、どのような提案、支援、助言等を実施していく考えか
5. AI・DX 相談に関する取組み	9(5)	所管課からの相談に対し、どのように提案、支援、助言等を実施していく考えか
6. 実施体制	9(6)	本業務の履行にあたり、チーフとなるアドバイザーやサポートスタッフ、事務局などの実施体制は充分か 従事者において、AI・DX に関する資格や知見・技術、デジタル関連業務に関する経験等は充分か

■ 第二次審査

プレゼンテーション及び質疑応答の評価

評価項目	評価基準
1. 説明・プレゼン能力・質疑応答	提案内容の説明が明確でわかりやすいか。
2. チーフとなるアドバイザーの能力	本業務の目的及び内容の理解を十分に理解しているか。 自治体の DX・AI 活用に関する知識を十分に有しているか。 北区の現状及び課題への認識が適切であるか。
3. 意欲・熱意	事業者、担当者としての本業務に対する意欲・積極性が感じられるか。
4. 業務遂行能力	他の事業者より独創性、優れた専門性があるか。